

## 安全パトロール

### 釜房ダム貯水池等堆砂測量 (東北地方整備局 釜房ダム管理所)

弊社では現場作業時の**安全対策を強化**するため、現場担当ではない**女性社員**による**安全パトロールを実施**しております。  
日ごろ現場経験のない**第三者目線で点検**することで、見落としがちな危険箇所の改善を目的としております。  
今回は、釜房ダムにて安全パトロールを実施してまいりました。



### 安全パトロール実施状況



作業前ミーティング



各現場を確認



パトロール結果報告

作業当日の気象情報や災害発生時の避難場所や**作業時の注意点について情報共有**を行う為、**安全掲示板を活用**し作業前ミーティングを行った。

担当者に作業内容の確認を行い、事前に把握した危険箇所や注意点を聞き取りし、安全に作業が行われているか、**第三者目線で確認を行った**。

パトロール結果について担当者全員で意見を出し合い、次回の測量作業時における課題について**安全対策案の検討を行った**。

### 安全対策実施状況

#### ①作業状況箇所確認・注意点抽出



安全対策マップ

#### 釜房ダム周辺の注意点

- 現場周辺は竹藪等があり、川崎町ではクマの出没情報もある為注意する
- 船上での作業は日陰がなく、水面からの紫外線反射があり温度が上がる為、熱中症に注意する
- 釜房ダムでは年間を通して「蔵王おろし」と呼ばれる蔵王連峰から強い風が吹く為、作業船使用時に注意する

現地踏査時に360度カメラを用いて、作業箇所を撮影しながら現地状況の把握を行った。現場周辺の注意点を抽出して安全対策マップを整理し、**注意箇所を作業担当者へ周知**し、測量作業時の**安全対策の検討**を行った。

## ②安全対策の検討・安全対策実施結果

### ①社会条件等への対応（害獣対策）



ベルトに装備



リュックに装備

迅速な対応ができるよう使用訓練を実施

訓練用スプレーを使用

ベルト・リュックに装備して噴射にかかる時間を比較した結果、**ベルトに装備する方が早い**ことがわかった。作業時はベルトに装備し携行するよう**担当者へ周知**を行った。

### ②厳しい自然条件への対応（熱中症対策）



深部体温37.8℃  
以上でアラーム音

熱中対策バンド



WBGT（暑さ指数）  
27.3℃

黒球式熱中症指数計

作業担当者を対象とした**熱中症対策講習会を実施**し、現場では**熱中対策バンド・熱中症指数計を装備**して**暑さを見える化**することで、熱中症を未然に防ぐ対策を行った。

### ③厳しい自然条件への対応（気象状況対策）



蔵王おろし

蔵王連峰から吹き下ろす強い風



3.1m/s

作業中止基準を変更（作業中止）

作業船使用時の作業中止基準を風速5mとしているが、蔵王おろしによる風の影響で波の高さが変わりやすく危険な為**作業中止基準を風速3m**とすることで作業担当者の安全を図った。

釜房ダムの自然環境を踏まえ、害獣対策、熱中症対策、気象変化への備えを継続的に行うことで、安心して作業できる環境づくりができておりました。今後も現場状況に応じた対応と情報共有を徹底し、**「安心・安全」**な作業環境の維持に努めてまいります。